

町づくり しろやま

2021. 1
No. 73

発行

戸坂城山学区
社会福祉協議会
戸坂大上1-4-22
戸坂福祉センター内

コロナ禍の令和二年度社協活動をふりかえり ミナミコロナの令和三年度社協活動を考える



戸坂城山学区社会福祉協議会

会長 塩谷 富士男

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症によつて戸坂城山社協の行事も大きな影響をうけました。2月末から3月にかけてイベントの開催自粛通知が広島市から出されました。学校閉鎖もあり、まずは城山町民体育祭は、体協の皆さんと協議の結果中止となりました。

その後コロナ感染症もやや落ち着いてきたかと思えたが、第2波がおり、8月の城山盆踊り大会9月の城山敬老会も参加者、世話人とも高齢者が多くハイリスクのため、理事会協議の結果これも中止とすることとなりました。その理事会も令和2年は4回の開催で、そのほかは書面審議、中止となりました。

ただ、コロナへの不安のため高齢者の外出機会が減り体力の低下が懸念されるため、人と人とのつながり、健康維持の必要性から、ふれあいいきいきサロンなどは、世話人の方々が、グループ分け、時間調整などのコロナ予

防策を講じながら、徐々に活動を再開されました。また、地域における見守り、支え合い活動（近隣ミニネットワーク）は、これもコロナ対策をしながら協力員の方々のご努力で続けられており、高齢者の方に弁当を届ける配食サービス活動も、この一年一度も休むことなく続けられてあります。

さらに助け合いの地域づくりであるボランティアバンク活動は、地域の人々の要望に応じています。

また、このコロナ禍の中でも新しい活動がありました。

それは、戸坂南の空き店舗を活用して、コロナに対応したICTを活用した新しい生活習慣を身につける「へさか南ICT教室」が南わくわくサロンで開催されております。

新しい活動と云えば、広島市からタブレット端末を借り受け、サロン等に活用するオンラインサロンも試行中です。

ところが11月下旬から、広島県では、コロナ感染症が最悪の状態になりました。11月までの感染者の総計を12月だけで、はるかに上回りました。これにより、サロン等は中止、戸坂福祉センターも臨時休館となりました。令和3年城山社協新年互礼会も中止となりました。令和2年は、コロナ禍の1年でした。

では、令和3年度の城山社協の活動についてですが、具体的な活動が一部規制されているコロナ禍の現在、何かできるか模索しておりますが、この機会に皆様にコロナ禍での活動について何か提案など力を貸していただければ幸いです。令和3年度も当然の間、活動はミナミコロナで進めていかざるを得ないと思われま

すので、我慢強く、人と人とのつながりを大切に見守り活動、サロン、ボランティアバンク活動、各行事をコロナ対策を常に頭に入れて進めて参りたいと思います。城山社協の理事の皆さんと協議を重ねながら、地域の皆さんに安心して、喜ばれる活動をしたいと思っております。



皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

健康ウォーキングチャレンジを終えて もう一歩もう一歩と意識して歩きました

大上四丁目町内会 林 倫子

それは令和2年5月半ばからの話です。

新型コロナウイルスの影響で集会所での同好会活動が休止となり、3か月余り今迄の日常でない暮らしが続きました。「町内会で何らかのコロナ対策活動が必要な時期になってきているのでは」という土井会長の提案から、三密を避けた活動はないものかと思案の末、外なら大丈夫だろうと始めたのが集会所前の公園でのラジオ体操でした。夕方5時から土日祝日を除いて毎日。その後思い思いに散歩。5月末から始めました。子供達が夏休みの間は、6時半から一緒にしました。

町内会・社協関係の行事がすべて中止。なかなか収束の見えない日々が続いていきます。

秋祭りが中止となりグラウンドゴルフ大会も危うくなったある日「ウォーキングラリーはできるんじゃない」という声で蜜にならないで沢山の方々が参加出来て健康にも繋がるイベントはないものかと考えていた時、市民と市政に「健康ウォーキング認定制度」募集の記事を見つけました。これこれとアレンジして役員会に提案し始めることにしました。

・1か月間・いつでも・どこでも・誰とでも・ひとりでも 65歳以上の方は、1日1ポイント 福山まで歩いた方 大阪まで歩いた方には賞品が出ます。

回覧で記録用紙を希望者にとってもらい始めました。毎日のラジオ体操の時間や第1、第2木曜日の「大4デイの日」に押印出来ることにしました。

ラジオ体操の後、それまでよりちょっと遠回りする方々や誘い合って歩かれる姿が多く見られました。ずっと以前から自分で歩くことを習慣にされている方々にも出会いました。「今、何歩？」「今〇〇歩」が合言葉のようになりました。

1か月が終わりました。結果は参加者89名総歩数15,566,042歩 総距離14,269.8km

- ・外に出る機会ができた・歩こうと歩く気にしてくれました・主人と二人楽しく歩きました・久々の歩行で足の運びが不十分であったのが継続する事で歩きやすくなりました。
- ・車ばかりの生活でしたが歩くように努力しました・皆さんと歩くのも楽しかったです。
- ・近所の人を見かけることが多くなりました・お話ができてよかったです・家族で夜、歩数記録を記入する時和やかなひと時でした・生活の一部になり大変助かりました。

などなど多くの嬉しい感想をいただきました。「もうこれでおしまいですか？」という声に令和3年2月から1か月、また、町内会のイベントとして行うことをライン役員会で提案し行うことになりました。

「一人で歩く」に加えて「みんなで歩く」を意識しながら、いつ収束するか分からないコロナ禍を何としても元気で明るく乗り切りたいものと切に切に思うこの頃です。



へさか南IT教室 開催中

戸坂南町内会長 曾江井 正之

毎週月曜日午後2時から1時間程度、南わくわくサロン（曾江井酒店となり）で「へさか南IT教室」をやっています。密を避けるため5〜6名の参加者と数名の講師（全員素人）で楽しく活動しています。

この教室の目的はITを使ってコロナウイルス感染症対策を行うことです。不要な外出を避け、ネットショッピングやスーパーや小売店のネット宅配を利用できるように



する。また、接触確認アプリの活用もする。将来的にはリモート診療で投薬を受けられるようにすることなどを考えています。そこで、ITを使った感染症対策が誰でもできるようにしよう。とりわけ重症化リスクが高いといわれる高齢者こそこうしたITが使えるようになろう。そのためには、まずITの使い方を勉強するための教室を開設しようということにしました。幸いにも市営の空き店舗を無料で借りる



ことができたため場所の確保もできました。市議会議員の山路さんや東区役所厚生部地域支援担当課の行廣課長さんのアドバイスを受け広島市のコロナ対策支援事業に応募し、開設資金の援助を受けることもできました。この資金でタブレット4台、PC1台、モバイルWiFiを購入しました。開設に当たっては町内会の役員会の同意を得て、準備会を発足しました。そこでは山路市議会議員をはじめ、東区社会福祉協議会の藤本さん、包括支援センター長の久保さんも参加していただき多くのアイデアをいただきました。また運営でも講師として参加したり、宣伝のビラを作ったりと大きな力添えをいただいています。こうして町内の有志と共に毎週教室を開催できるようになりました。

教室の参加者は、5回の参加を1コースとしています。スイッチの入れ方からはじまり、各アイコンの意味や操作の仕方、検索の方法などをやります。5回目は今夜の献立をネットで考え必要な材料をネットショッピングで宅配してもらうことができるようになります。そして最後に修了書を受け取り終わります。「1時間じゃ足らんよ。もっとやりたいよ。」という声が聞こえるほど楽しく参加してくださる方もおられます。

教室の内容はまだまだ手探りでリモート診療も実現できていませんが、コロナウイルスに負けない、生き生きとした活動を目指して今後も取り組んでいきたいと思っています。



「乗合タクシー」運行実現に向けて

戸坂連合社会福祉協議会

会長 秋本 昇

平素より戸坂連合社会福祉協議会（戸坂3学区：以下、戸坂連合社協）の活動に対し、ご理解とご支援ご協力をいただき誠にありがとうございます。

戸坂連合社協といたしましては昨年来、戸坂住民の生活を支える交通体系のあり方を広島市道路交通局の方々とともに検討してまいりました。そこで先ず、戸坂3学区にお住いの皆様に「乗合タクシー」導入についてのご意見をアンケートにより集約させていただき、できる限り低額な生活交通の確保を実現したいと考えており、コロナ禍の中、多忙な11月にアンケート調査を実施させていただきました。

戸坂3学区の5,000世帯に配付し、3,250世帯の皆様から提出していただきました。コロナ禍にも関わらず65%という高い回収率で、皆様の「乗合タクシー」への関心度合いを計り知ることができました。ご協力、本当にありがとうございました。

12月早々には、アンケート用紙を全て、広島市道路交通局に提出し、現在は分析・整理中であります。

今後は、アンケートの分析結果により、ワークショップや勉強会を実施し、次の段階である、実際に「乗合タクシー」を運行する「実験運行（市負担での社会実験）」を約1年間東浄学区で行えればと考えています。

更に戸坂3学区全体での運行は、東浄学区での「実験運行」結果を整理・確認してからの対応となります。

戸坂3学区全体約12,500世帯での大規模な「乗合タクシー」の取り組みは、全国的にも類を見ないと云われております。

戸坂3学区の皆様と一致協力し、「乗合タクシー」運行実現に向けて、頑張りましょう。



日時 8月に予定
皆様のご協力よろしく
お願い致します。

場所 戸坂福祉センター

主催 戸坂城山学区
献血推進協力会



令和二年十月一日

戸坂南町内会

広島市安全なまちづくり功勞表彰



青木 幹丸

令和二年十一月二十七日

広島県社会福祉協議会会長表彰

令和二年度に表彰された皆様

(関係者分)